

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岩手県 九戸村

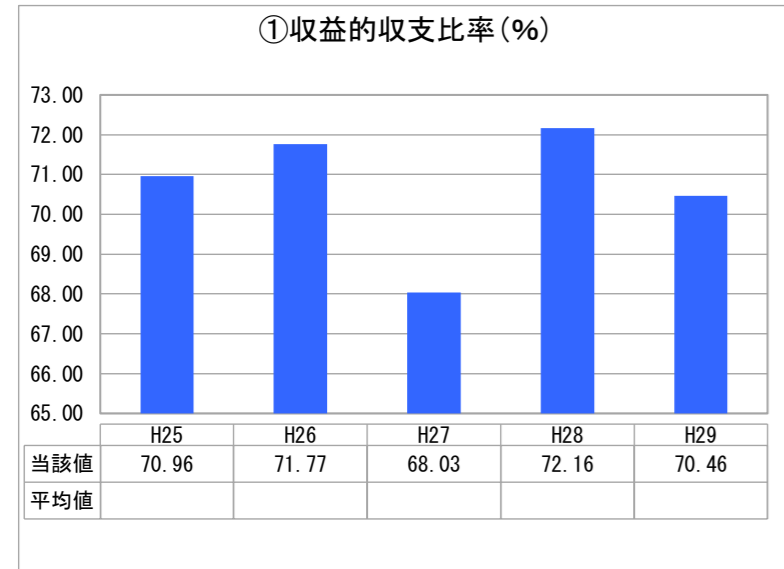
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	43.48	98.18	2,692

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,927	134.02	44.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,556	0.88	2,904.55

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



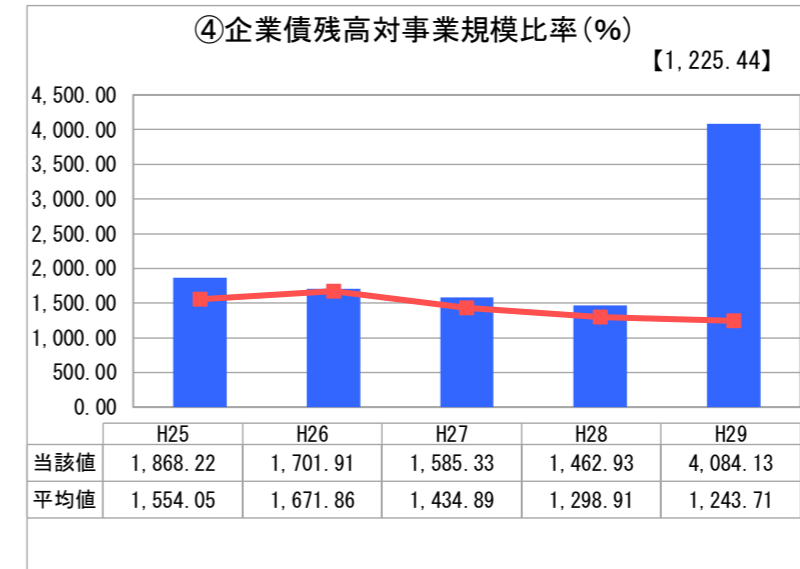
「単年度の収支」



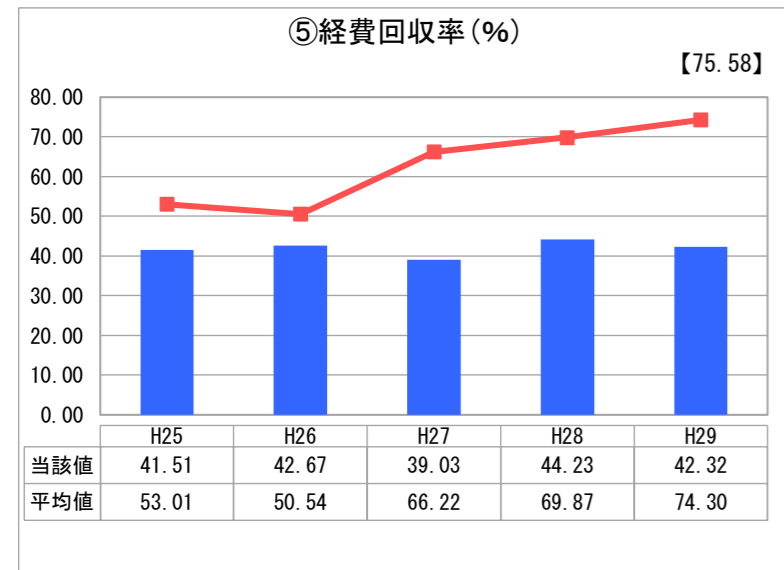
「累積欠損」



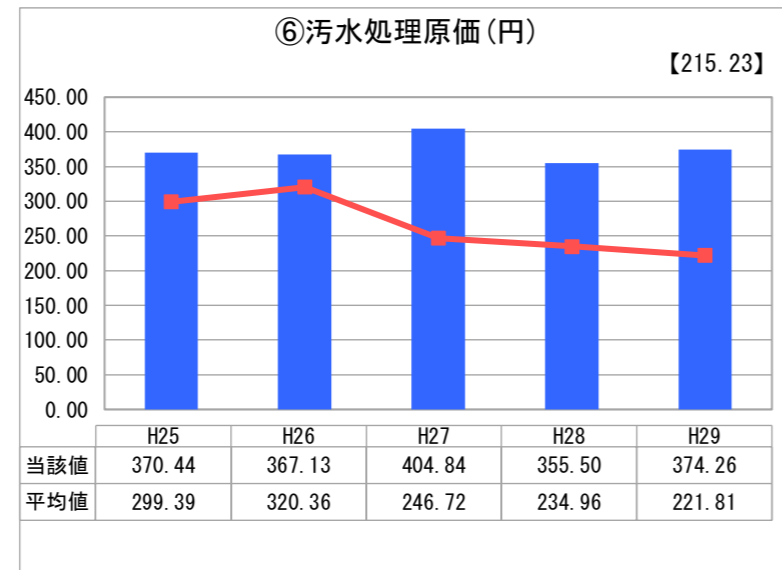
「支払能力」



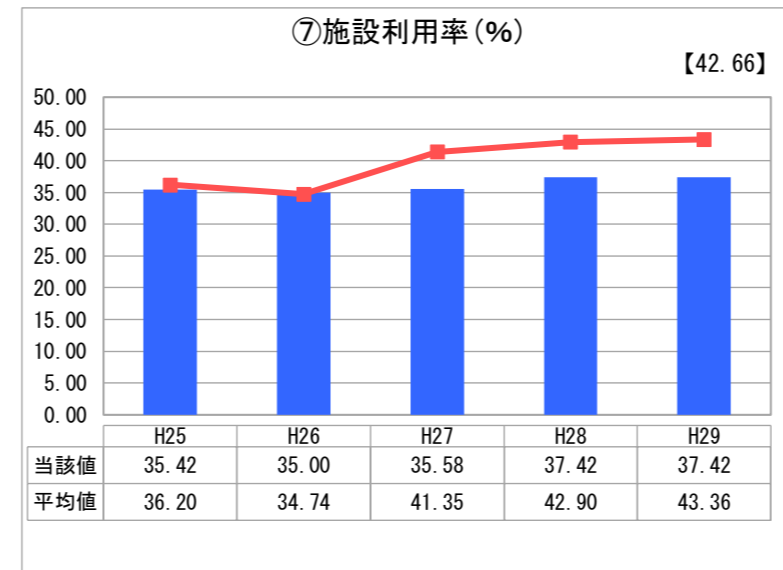
「債務残高」



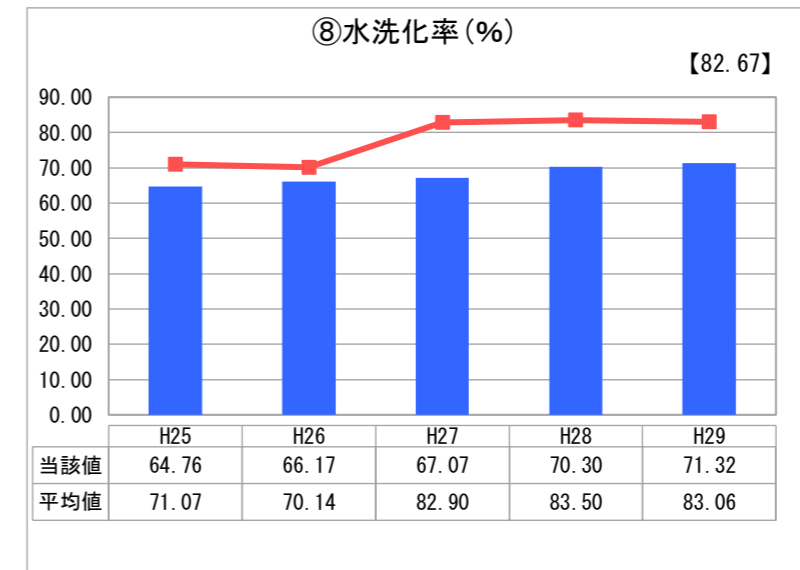
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

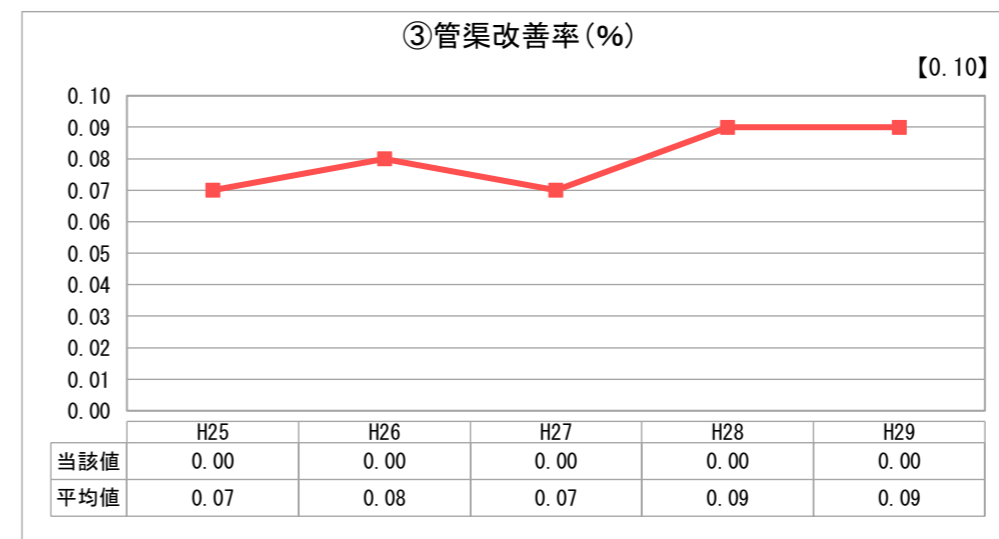
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について  
収益的収支比率は70.46%となっており、健全経営とはいえない状況である。収支赤字分を一般会計繰入金に依存しているのが現状であり収支改善に努める必要がある。

④企業債残高対事業規模比率  
収支赤字分は一般会計から補填してもらっているが、地方債の償還に要する資金の一部又は全部を一般会計において負担することを定めていないため、類似団体と比べると、高い数値となっている。

⑤経費回収率  
類似団体より低い数値となっているため、適正な料金設定及び汚水処理費の削減に努める必要がある。

⑥汚水処理原価  
類似団体より高い数値となっており、維持管理費用の削減や接続率の向上による有収水量の増加に一層努める必要がある。

⑦施設利用率  
接続人口の影響で低い数値となっているため、接続率の向上に努める必要がある。

⑧水洗化率について  
類似団体と比較してやや低い数値となっているが、上昇傾向にあるため、継続して水洗化率の向上に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成12年度から供用開始しているが、法定耐用年数を超えた管路はまだ無いため、今後の状況に応じて検討していく。

## 全体総括

類似団体と比べて、経費回収率、施設利用率及び水洗化率が低く、汚水処理原価が高い状況にあるが、その主な要因として水洗化率が低いことが挙げられる。現在も広報等を活用するなど、普及啓発を行っているが、他の手段も検討しつつ水洗化率の向上に更に努めていく必要がある。

また、ストックマネジメント支援制度を利用し、下水道施設全体の中長期的な状態を予測しながら維持管理や改築更新を行い、改築更新経費の削減に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。